



バイリンガル朗読とハープ

～ 命名150年目の冬に ～

Bilingual Poetry Reading on Harps ★150 Years Since the Naming of This Island

2018年 12月8日 (土) 開演 19:00 (開場 18:30)

札幌市文化芸術交流センター SCARTS コート (北1西1 さっぽろ創世スクエア 札幌市民交流プラザ 1F ☎011-271-1000)



♡朗読 & 弾き語り作品 (原文と翻訳)♡ 「Boys, be ambitious!」(ウィリアム・クラーク), 「摩周湖」「林間にて」「白鳥たち」(河邨文一郎), 「雪と風」「冬の午後」(エミリー・ディキンソン), 「雪の夕べ 森の畔に佇み」「クリスマスの木々」(ロバート・フロスト), 「ウェールズっ子のクリスマス」(ディラン・トマス), 「青の池 秘すれど」「雪原に並ぶ足跡が」「声の記憶を辿りながら」(熊谷ユリヤ)他

♡曲目 (ハープソロ/弾き語り)♡ 「冬」(ヴィヴァルディー: 四季)「花のワルツ」(チャイコフスキー: くるみ割り人形)「虹と雪のバラード」
「主よ 人の望みの喜びよ」「アヴェマリア(バッハ/グノー)」 「スケーターズ・ワルツ」「冬の星座」「冬景色」「トロイカ」「雪の降るまちを」「時計台の鐘」「ペチカ」「この道」「諸人こそぞりて」「荒野の果てに」「降る雪のグリッサンド」他

♡熊谷ユリヤ (朗読, 弾き語り, トーク, 通訳, 翻訳)♡ PEN/日本現代詩人会/日本アメリカ文学会/日本通訳翻訳学会/日本翻訳家協会/英国詩協会/米国詩協会/世界芸術文化アカデミー会員。札幌大学教授, 英語会議通訳者/翻訳者。北海道通訳翻訳研究会会長。吟遊詩人大賞/Millennium世界詩人会議優秀詩賞/北海道詩人協会賞他。詩集 *Double Helix into Eternity* 『声の記憶を辿りながら』『名づけびとの深い声が』他多数。翻訳詩集『The Midday of Substances 河邨文一郎詩集』他

♡Michael J. Henshaw (英語朗読, トーク)♡ アメリカ合衆国カリフォルニア州出身。北海道大学大学院 獣医学研究科国際連携推進室 特任講師。研究分野は、国際サイエンスコミュニケーション、国際環境史。メディア・コミュニケーション活動の一環として NHK World の “Wild Hokkaido” のナレーション担当, ラジオDJ, Online のコミュニケーション・プレゼンテーションでも活躍

♡松浦朋美 (グランドハープ/アイリッシュハープ演奏)♡ 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学器楽科卒業。クイーンズランド・コンセルヴァトワール・グリフィス大大学院修士課程修了。元クイーンズランド交響楽団団員。日本ハープコンクール・アドヴァンス部門入賞。PMF1998 参加。フィリップパワー・ハープコンペティション2年連続1位、パフォーマンス賞。篠崎史子, 故・堤祥作, S.リップマン各氏に師事。ソロ, 室内楽, オーケストラ, ブラスバンドなどで幅広く活躍

♡チャリティーイベント♡ 全席自由 1,000 円(定員 130 名) 益金は「みちのく未来基金-震災遺児に進学の夢を!」に寄付

♡ご予約(当日会場でお支払い)♡ poetry.sapporo@gmail.com Tel(メールできない方のみ): 090 8707 2688

♡チケット取扱所♡ 大丸プレイガイド(011-221-3900), 道新プレイガイド(011-241-3871), 教文プレイガイド(011-271-3355)

♡主催♡札幌大学熊谷ユリヤ研究室 ♡後援♡北海道, 札幌市, (公財)北海道文学館, (公財)札幌国際プラザ